

■プリペイドカードの購入を指示する詐欺業者にご注意■（5月）

＜相談事例＞息子からプリペイドカードを購入してほしいと無料通話アプリでメールがあった。内容がよくわからなかったが、やり取りをしているうちに、コンビニで音楽情報サイトのプリペイドカードを買ってほしいということがわかり、コンビニで息子から送信された画像を見せて、1万円のプリペイドカード3枚をクレジットカードで購入した。

メールにはプリペイドカードの番号を写真に撮って送ってほしいと書いてあったが、どうすればいいのかわからなかったので、息子に電話をかけたが、そのようなメールを送っていないと言われた。何者かが息子のアカウントを盗んで、息子になりすましていたことがわかった。コンビニに事情を説明したら、プリペイドカードの封を開けていなかったため返品に応じてくれることになった。コンビニからクレジット会社にも連絡を入れてくれることになったが、いつマイナス処理されるのかわからず不安だ。息子は無料通話アプリを閉じて、自分も使わないようにした。

＜アドバイス＞センターからコンビニに連絡を取り、コンビニでクレジット決済のマイナス処理を進めていることを確認し相談者に伝えました。また、アカウントが不正に使用されたことをアプリ運営会社にも報告するよう助言しました。

- プリペイドカードは、金額を決めて使いたい場合や音楽、ゲーム等のダウンロードコンテンツを購入する場合等で利用できる決済手段として広まっており、コンビニなどで簡単に購入することができます。プリペイドカードを購入してカード番号等を伝えるのは、プリペイドカード自体を譲ってしまうのと同じことなので注意が必要です。困った時は、すぐに消費生活センターに相談しましょう。